

# 令和4年度 東光こども園における自己評価

令和5年3月

学校法人 東光学園 東光こども園

## 【評価】

5:よくできている      4:まあまあできている      3:できている      2:あまりできていない      1:全くできていない

評価項目	内容	評価	課題及び考察
1 保育の計画性	① 園の教育理念や教育目標を理解する	4	年度当初に今年度のグラウンドデザインを保護者の方にお知らせし、園全体で取り組むことができた。 各クラスの指導計画を職員同士で共有し、クラス交流が持てるよう工夫をした。 園内の環境を今一度見直し、園児が安全で過ごしやすくなるよう取り組んでいく。
	② こども園教育要領を読み、園長や保育者と話し合って理解に努める	3.1	
	③ 指導計画は幼児の発達に即して幼児期にふさわしい生活を展開できるように具体的に作成する	4.3	
	④ 安全で清潔感のある環境を構成する	3	
	⑤ 幼児が自ら活動を展開していけるような場や空間の構成をする	4.4	
	⑥ 幼児の発達や生活を見通した環境の構成をする	4.4	
	⑦ 異年齢の幼児が自然に交流できるような環境の構成をする	4.1	
	⑧ 自分の保育を評価・反省することで、次の保育にいかす	4.4	
2 保育の在り方・ 幼児への対応	⑨ 園内に危険な箇所がないか、危険な遊び方はしていないか常に配慮し、危険が予測される場合は安全な遊び方について幼児と一緒に考える	3.7	教育目標にあるように「一人ひとりをしっかりと受け止め」を日々念頭に置きながら保育を行っている。子ども達が今何を求めているのかアンテナを張り、ブームが起きた時には没頭できる環境を作れるよう援助をすることができた。 安全面では遊びの中でのけがが起こりやすいので、行動を予測し、職員間で連携して危険のないよう配慮していく。子どもと共に遊びのルールを確認し、子ども自身も意識していけるよう取り組んでいく。
	⑩ 幼児の話をよく聞き、幼児の思いを受けとめる	4.8	
	⑪ 個々の幼児の発達の姿や課題について、見通しを持って理解する	4.7	
	⑫ 幼児同士の関わりの姿を捉え、そこでの幼児の育ちを理解する	4.8	
	⑬ 幼児の思いや考えに共感しながら、幼児と一緒に活動する	5	
	⑭ 幼児の一人一人のありのままの姿を受け入れ、その子のよさを認めるように心がける	5	
	⑮ 幼児が遊びを深めていくための、適切な援助をするように心がける	4.4	
	⑯ 幼児同士のトラブルに対し、適切な対応をするように心がける	4.2	
	⑰ 幼児のことについて保育者同士で話し合い、共通理解をするように心がける	4.7	
3 保育者としての 資質の能力	⑱ 保護者に対し、幼児や自分の保育のことをわかりやすく話し、保護者との信頼関係を築くよう努める	4.8	保護者の皆様にも安心していただけるよう、子どもたちの成長をなるべくリアルタイムで伝えるよう取り組んだ。共に成長の喜びを分かち合うことができている。
	⑲ 職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守る	4.7	
	⑳ 教職員全員で一つのチームであることを自覚する	4.8	
	㉑ 幼児の成長を自分の喜びと感じる	5	
	㉒ 幼児と一緒に生活を創り出すことを楽しいと感じる	5	

4	保護者への 対応	㉓ 保護者に個々の幼児の様子を伝える工夫をする	4.4	送迎方法によって話す機 会の偏りがあるので、意 識してお話しできる機 会が持てるよう努めてい る。 きらりんの連絡帳をアプ リに移行したことで忙し い中でも登録しやすくな ったとの声を頂いてい る。
		㉔ 保護者からの相談や要望には心を開いて、よく話を聞くように心 がける	4.4	
		㉕ 電話は、相手が見えないために誤解が生じやすいことを心に留 め、簡潔にわかりやすく話すことを心がける	4.2	
		㉖ 話の内容によっては教職員全体で検討し、共通理解のうえで対処 する	4.1	
5	地域の自然や 社会 とのかかわり	㉗ 地域の人々と親しくあいさつや会話を交わすように心がける	4.1	今年度は小学校と関わる 機会が多く、年長児は小 学校へ行く安心感を持つ ことができた。 ふぁみりんができたこと で地域の一つの憩い場と なることができた。今後 も地域と密になれるよう 努めていく。
		㉘ 小学校の教育内容について理解するよう努める	3.2	
		㉙ 子育ての支援や地域開放について具体的な形や内容を理解する	3.4	
6	研修と研究	㉚ 研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加する	3.7	外部の研修や園内研修で より専門性を高められる よう積極的に参加してい きたい。また、職員間で 共有できる場を設けてい く。
		㉛ 自分の保育について自己課題をもって評価・反省を行う	4.1	
		㉜ 保育者としての専門性に関する研修・研究を行う	3.7	